



野遊びを通して、子どもたちは 自然やいのちの大切さを学んでいます。

たじま しせい
田島 司生さん(引水)



今回は、野外活動で、子どもたちにさまざまな学習の場を提供している、
田島司生さんにお話を伺いました。



「野遊び探検隊」の活動内容について
教えてください。

活動場所は町内の森や川、公園など
地域にある「良か」と「探し」をしなが
ら野遊びを企画しています。

昨年は引水公民館で「観月会お月
見団子作りが人気でした。矢護山では
定期的にみる、聞く、触れる、など五感
を意識した環境教育プログラム「ネイ
チャーゲーム」を実施しています。

そして4月からは「森のようちえ
ん」という就学前児童を持つ親子のた
めの野遊び講座が始まります。この活
動は子どもたちが知識を学ぶことよ

自然遊びの楽しさを伝えるための団
体とはどのような団体ですか？

「遊ぶ空間、遊ぶ時間、遊ぶ仲間」子
どもたちは三つの間がなくなりつつ
あります。「野遊び探検隊」という自然
体験活動を通じて地域の子もまた
に自然とふれあうきっかけ、居場所作
りをしています。

「野遊び探検隊」の結成のきっかけは？

30歳代まで関東で児童劇団の制作
の仕事をしていましたから、公演の
先々の子どもたちと接する機会も多
く、気がつけばいつも保育士さんみた
いに子どもたちに囲まれていました。
そんな体験が後押しとなり、ウター
ン後、大津町のすばらしい自然を利用し
た子どもたちのための自然体験活動
をはじめました。現在隊員は23人、ネ
イチャーゲームインストラクターや
県森林インストラクター、保育士、看
護師など様々な分野の専門指導員で
構成しています。

最後に現在の活動を通して感じるこ
とを聞かせてください。

野遊びをしていると子どもたちは
面白いなことをした葉っぱや木の実
や虫などを、宝物を発見したかのよう
に大人たちに見せに来ます。そんなと
きはぜひ一緒に遊んでほしい。それ
不思議発見を楽しんでください。それ
は子どもたちが自然や命の大切さを
感じている瞬間だと思います。

私も、自然の中で感じることに重きを
おく「森の中を教室にした活動です。
町で活躍中の『からいもくん』のルー
ツは田島さんとお聞きしましたが、ど
私が大津町にウターンしたとき、ど
んな活動すべきか迷った時期があり
ました。そんなおり知人からの勧めで
「大津町ふれあいのふるさとづく
り」をスローガンとする「明日の観光
大津を創る会」に参加することになり
ました。



生命の尊さを学習する 「人権の花運動」のイベントを実施!

昨年12月13日、大津東小学校
で「大津東小学校ふれあいフェ
スタ」を開催し、無公害紙風船
に花の種子を付けて飛ばしました。



これは、花を育てることを通
して生命の尊さ、やさしさを体
得してもらうために行ってい
るもので、昨年5月から児童が一生懸命、花を育ててきました。
当日は、PTAや地元の人も参加し、約270個の紙風船に、人権
メッセージを書いた封筒を付け、「人権の大切さ」を訴えました。
風によってどこまで飛んだのか、児童は楽しみにしています。
封筒を見かけた人は、大津東小学校にご連絡ください。

人権
ニ
ュ
ー
ス

行政区嘱託員会議で 人権学習会!

昨年12月、町生涯学習センター大会議室で行わ
れた行政区嘱託員会議で人権学習会を実施しま
した。

これは同会議で毎年行っている学習会で、町
地域人権教育指導員の野口一世さんが明治時代
から現代にかけての同和問題の歴史について講
話を行いました。行政区嘱託員の
皆さんは人権問
題に関する認識
をより一層深め
ました。



人づくりはまちづくり

「大津まちおこし大学」
まちづくり学部登録団体紹介



大津町民生委員児童委員協議会
会長 吉田 和信さん

登録団体紹介
わたしたちは、民生委員法と児童委
員の活動要領に基づいた民生委員・
児童委員で構成する組織で、「民児協」
と呼ばれています。地域担当民生・
児童委員44人、主任児童委員3人の合
計47人で活動しています。力を合わ
せて町のために尽くしていきたいと
いう思いで、専門的な知識や人との接
し方などを勉強するために月1回の
定例会や研修会などを行っています。

今までの活動と今後の活動
地域の皆さんが、自立した生活がで
きるように、関係機関と連携して悩み
を解決する手助けを行っています。
また子育て支援や、いじめや児童虐待
などの予防にも取り組んでいます。
守秘義務がありますので安心して相
談できますし、誰にでも平等・公平に
接することを心掛けて活動していま
す。今後は、「子ども100番」の車
の取り組みを行い、日常生活を通して子
どもたちの安全を見守る活動を充実
していく予定です。

大津まちおこし大学に登録したメリット
地域で自立した生活をしたいとい
う人がいること、そしてその手助けを

一言PR
地域の人たちが能力を提供し合っ
て足りない部分は補い合うことが大
切だと考えています。わたしたちだ
けでは、目を配れない部分もあるの
で、近所の人たちができることを少し
も協力してもらえたらとありがたい
です。地域のつながりがとても大切で
すが、つながりが広がって「心かよいあ
うまち」になればいいですね。

問い合わせ
大津町民生委員児童委員協議会事務局
(役場健康福祉課内)
☎(293)35100



新春恒例の民児協と行政との懇談会

大津まちおこし大学 学科生の活動を報告します!

文化振興学科

「大津町のいいところを発見しよう!」と活動して
いる文化振興学科は、学科生が考えた「大津のいいと
ころ」を30秒間のCMにまとめて、熊本朝日放送主催
の「ふるさとCM大賞」に2作品を応募しました。昨
年は「大津のからいもがなぜ美味しいのか?」をテ
マにしたCMが見事にグランプリを獲得しています。
今年も結果が楽しみです。



編集をする学科生。
町のいいところが凝縮されたCMを期待しています。

地域おこし学科

次世代のまちづくりを担う人材(リーダー)を育成
する目的で設立された「地域おこし学科」。今年は、地
域資源を再発見する手法を学び、モデル地域を陣内・
森地区周辺に決定し、地域の個性や誇り、愛着を込め
たマップづくりに取り組んでいます。完成したマッ
プは、地域の皆さんに地域資源の再確認や地域のイベ
ントなどに活用してもらいたいと考えています。



昨年11月に、モデル地域内にある資源を見る学科生。
写真は「窪田阿蘇神社」